

2011 年度「目で聴くテレビ」

リアルタイム手話通訳者現任研修及び養成講座の

開催と受講者募集要項

2011 年 12 月 5 日

NPO 法人 CS 障害者放送統一機構

① 講座の目的

現在、テレビ番組への手話通訳の付加はほとんど無く、数値目標すらない状態です。今回の東日本大震災後、官邸における記者会見に手話通訳が配置されたことは大きな前進ではありますが、官邸からの生中継の時のみ、NHKのみ、にとどまっているのが現状です。

そうしたなかで、CS 障害者放送統一機構（以下、統一機構）では、2002 年 5 月から CS 通信を用いた独自の方式（ピクチャーインピクチャー：2 画面合成機能）で、一般テレビ番組に対応するリアルタイム手話を配信し、新潟県中越地震（2004 年 10 月）や能登半島地震（2007 年 3 月）、新潟県中越沖地震（2007 年 7 月）、岩手宮城内陸地震（2008 年 6 月）、岩手沿岸北陪地地震（2008 年 7 月）、静岡沖地震（2009 年 8 月）、チリ地震による太平洋沿岸大津波警報（2010 年 2 月）東日本大震災（2011 年 3 月）などの災害時にも緊急の配信を実施してきました。

また、災害時に備える意味からも、普段から 1 カ月 8 番組程度のニュース・情報番組に対するリアルタイム手話配信を続けています。

今回の講座は、統一機構が、今後「目で聴くテレビ」の「補完放送」の実現へ向け、より本格的なリアルタイム手話放送をさらに拡大し、災害時の対応も考慮した手話通訳者の確保を目的として開講するものです。

そして現任研修を受けられたみなさんには引き続き放送にご協力頂くとともに、養成講座修了のみなさんには条件に応じて「目で聴くテレビ」リアルタイム手話配信にご協力していただけることを目指します。

② 主催

特定非営利活動法人 CS 障害者放送統一機構

③ 講座実施日

2012 年 1 月 21 日（土）～22 日（日）

※2 日間にわたってテレビにおける手話通訳の講義・実習を行います。

現任研修講座に参加の方はどちらか 1 日のみでも結構です。

養成講座に参加の方は 2 日間ともご参加下さい。

④ 会場

CS 障害者放送統一機構 会議室（大阪市北区東天満 2-7-12 スターポート）

大阪市営地下鉄「南森町」、JR 東西線「大阪天満宮」から徒歩 3 分

⑤ 講座内容

【1日目】10時～18時

開講式

(1) 講義①：「言語計画とレジスター」

講師：大杉豊氏（筑波技術大学准教授、日本手話研究所事務局長）

(2) 実習②：実際の放送例をもとにテレビ通訳の検討

【2日目】10時～16時30分

(1) 講義② 「フォーマル手話とは」

講師：高田英一 CS障害者放送統一機構理事長（日本手話研究所所長）

(2) 実習② 実際に撮影してテレビ通訳の検証

閉講式

⑥ 受講応募資格

- ・厚生労働省認定手話通訳士であること
- ・放送に合わせて大阪北区のスタジオに来られる人

⑦ 受講のための費用

講座資料代（養成講座の参加者のみ） 2000円

講座に参加するための交通費については各受講者の負担とします

⑧ 受講募集者数と応募方法

募集予定者数 15名

応募用紙（ホームページにあります）必要事項を記入の上、統一機構まで

郵送またはFAXで申し込んでください

受付期間は、2012年1月10日まで

ただし、募集予定者数15名に達した時点で締め切ります

⑨ 応募、お問い合わせ先

NPO法人 CS障害者放送統一機構

〒530-0044 大阪市北区東天満2-7-12 スターポート

TEL 06-6242-6501 FAX 06-6242-6502